

第 119 回医療ビジネス研究会のご案内

高齢者の日常生活に関する意識調査(H26年内閣府、対象60歳以上)によると、高齢者の楽しみは第1位/仲間との交際、第2位/旅行、第3位/テレビ・ラジオでした。同様の調査は過去にも3回(H21、H16、H11)実施されていますが、直近の調査ではそれまで常に筆頭であった「テレビ・ラジオ」が3位に後退し、逆に「仲間との交際」と「旅行」が最上位に躍進しました。戦後生まれの団塊の世代が調査対象年齢になったことが影響しているものと考えられます。

加齢とともに体力・気力は低下し、慢性疾患による食事制限や入浴制限、さらには服薬管理が必要になるなど、高齢者は楽しみからは徐々に疎遠になっていく状況にあります。反面、既存のサービスや仕組みを上手に組み合わせることが出来れば、見守りや、介護サービスが必要となった高齢者であっても、自らの意思で離れて暮らす家族や仲間と交流したり、旅行を楽しむことが可能な社会になってきました。

弊会でも、介護サービスが受けられて長期滞在が可能な宿(宿泊施設)の普及・促進をする「健康回復宿」推進プロジェクト(2012年開始)がありますが、未だにそのような宿は認知度も低く事業者数も少ない状況にあります。日本全国どこに行っても普段と同じ生活や介護サービスが(医療サービスと同じように)受けられるのであれば、高齢になっても旅する機会が増えいつまでも楽しみを持つことが可能です。

今回は高齢者の楽しみ(夢)を実現させる取組みをされる、(株)秋吉の代表をお招きしお話を伺います。同社は明治40年創業の登別の老舗旅館、現在は本社を札幌に移転し旅行事業、マンスリーマンション事業、不動産事業など幅広い事業を展開しています。また、関連会社では介護事業、保育事業、高齢者住宅事業を手がけています。同社が経営する多世代利用型集合住宅(デイサービス施設、保育園、サ高住、学生向き住宅が入居)は、「北海道福祉のまちづくりコンクール」活動部門賞(2011年)を受賞しています。

2015年6月からは、介護付旅行・外出支援サービス事業「夢たび」を開始。専門の研修を受けた現役の介護職「夢たびヘルパー」が同行する企画旅行を提供しています。地元札幌の定山溪温泉の宿とタイアップした「入浴介助付ホテルパックプラン」に見られるきめの細かい商品設計は、老舗旅館や福祉事業を手がけ、長きに渡り蓄積されたホスピタリティに裏づけされた経験やノウハウが活かされています。

近くて遠い関係にある旅行事業と福祉事業を融合させた商品開発や、7年前から実践する保育と介護の共存など、分断しているサービスや機能を新しい発想で統合させる共感力と行動力が、新たな価値(高齢者の楽しみや夢)を創出します。老舗旅館の看板を下ろし、成長分野に注力する事業展開など、柔軟に環境適応する、社歴110年超の老舗企業のサバイバル戦略にも言及頂きます。関連する事業に携わる方はもとより、経営者、企業戦略策定などに関る方には是非ともお聞き戴きたい内容です。奮ってご参加戴くようご案内申し上げます。

2017年6月

特定非営利活動法人 医療事業再生機構

記

- テーマ:「異事業連携によるイノベーション」=福祉と観光の融合による価値創造現場から=
- 講師:秋吉壮俊(タケトシ)氏 株式会社秋吉 代表取締役、株式会社テイクケアライフ 代表取締役
- 開催日時:2017年7月18日(火曜日)18:30~20:30

以上

※ 当研究会は完全予約制です。

【要参加票】参加を希望される方は御手数ですが OMBR:(特非)医療事業再生機構のホームページよりお申込戴くか、info@npombr.org 宛にご連絡ください。